

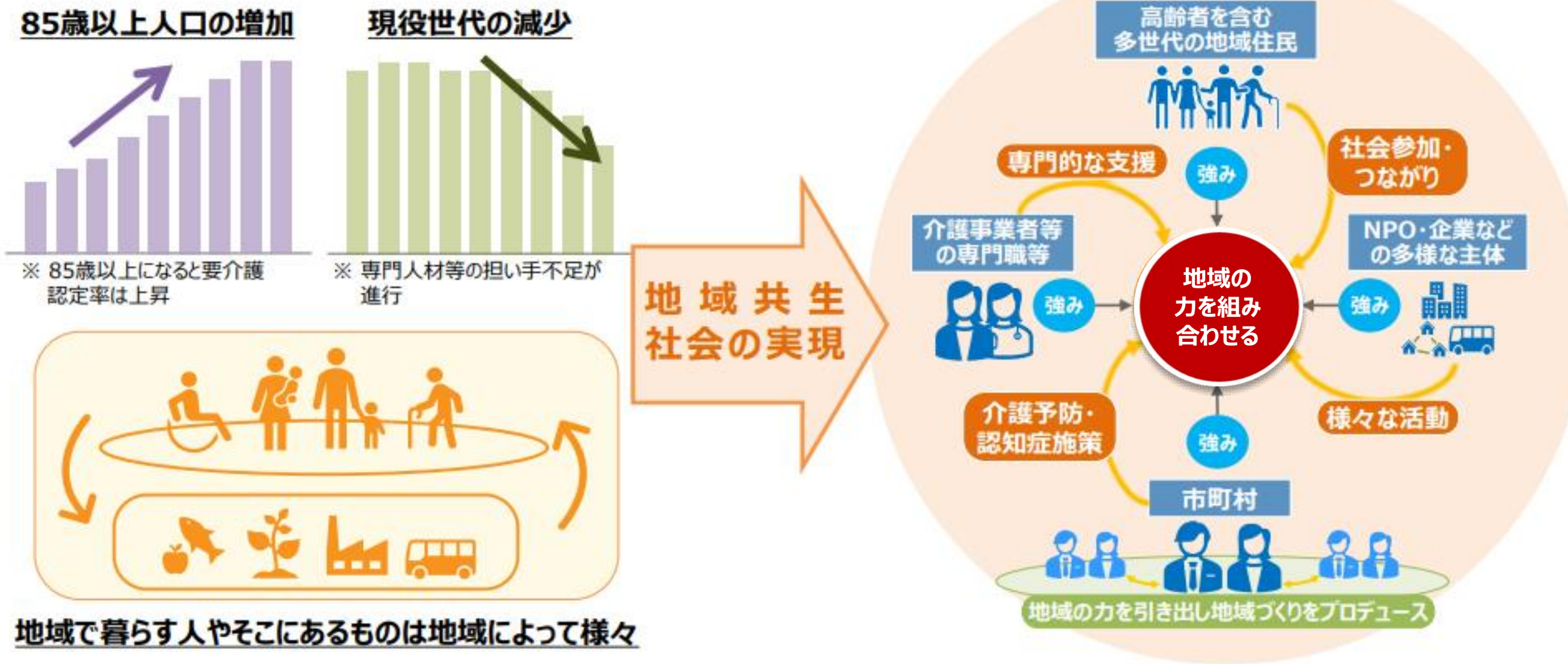


水戸市における 高齢者福祉の現状と課題

「水戸市第9期高齢者福祉計画・介護保険事業計画」が
描く展望と民間企業への期待

水戸市福祉部高齢福祉課

地域共生社会の実現と多主体共創の必要性



水戸市第9期高齢者福祉計画・介護保険事業計画

2024年6月策定

計画期間：2024年度から2026年度までの3年間

〈目指す姿〉
地域で支えあい
いきいきと安心して自分らしく
暮らせるまち・水戸

基本方針1

住み慣れた地域でいきいきと安心して暮らせる環境の実現

基本方針2

介護予防と健康づくりの推進

基本方針3

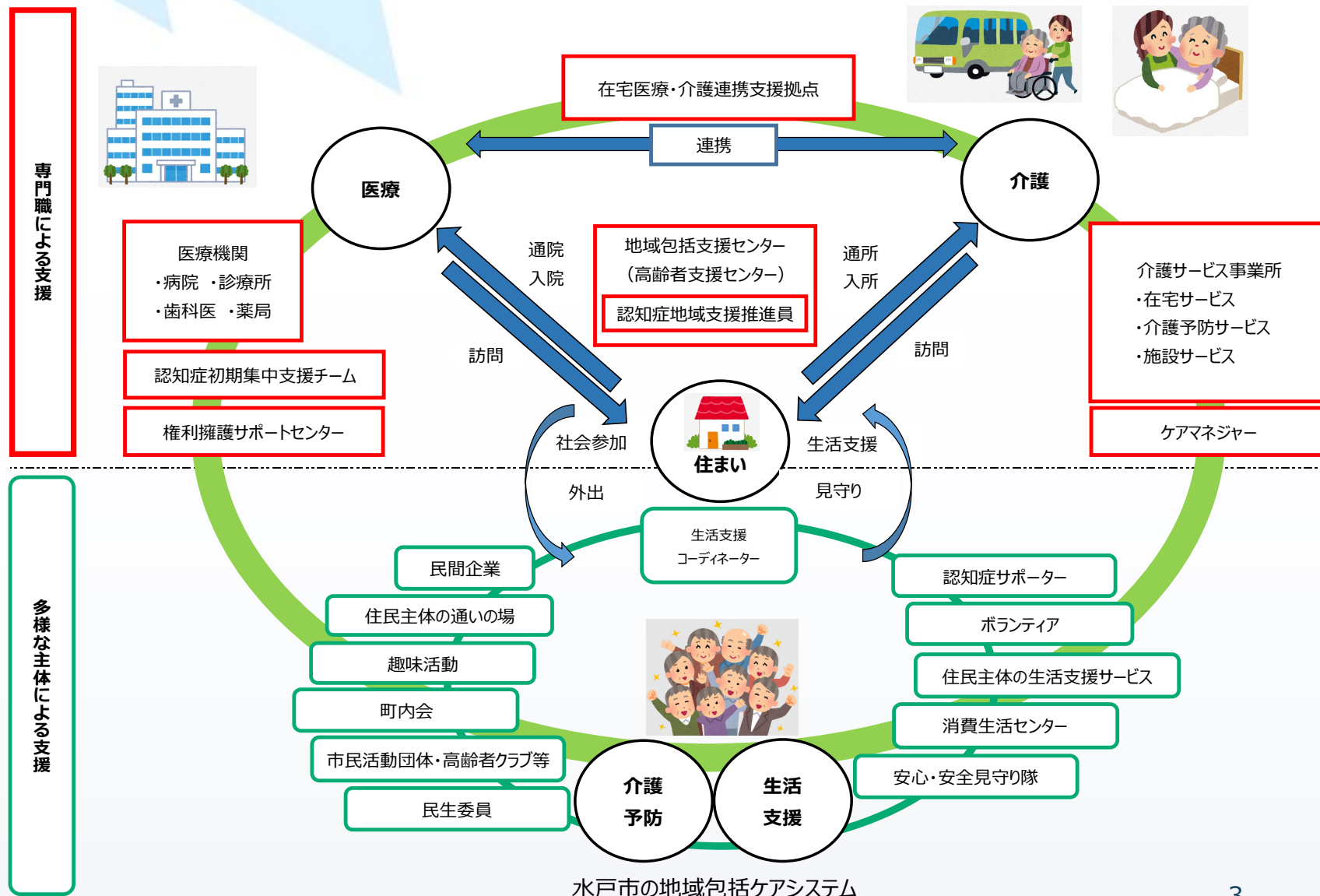
認知症施策の総合的な推進

基本方針4

持続可能な介護・福祉サービスの充実

介護予防と生活支援の充実

生活支援体制整備事業の推進



高齢者支援センターとは



住み慣れた地域で、いつまでも自分らしく生活していくためには、自身の健康状態などを把握し、早めに介護予防に取り組んだり、適切なサービスを受けたりすることが大切です。

水戸市では、医療・介護・予防・生活支援などを一体的に提供する仕組みを支える機関として、平成27年度から「高齢者支援センター」を設置しています。

市民の皆さまの生活に寄り添いながら、きめ細やかな支援を行うため、日常の生活圏域ごとに8つの支援センターがあります。

地域みんなで支えます



主任ケアマネジャー



保健師



社会福祉士

各支援センターでは、主任介護支援専門員（主任ケアマネジャー）や社会福祉士、保健師などがチームを組んで、さまざまな高齢者への支援を行っています。

その支援体制はセンター内だけにとどまりません。地域の民生委員や町内会長、医療・介護の関係者、警察や他の行政機関などと普段からネットワークづくりをしています。しっかりと情報を共有し、それぞれの専門知識や技能を生かすことが、ひとりひとりの高齢者に合った支援につながります。

1

相談や悩みを伺います

高齢者の皆さんやその家族、地域の方からの相談や悩みを伺い、必要な情報の提供や、サービスの紹介などを行います。相談は無料です。



高齢者支援センターの 4つの主な業務

2

地域の連携や協力体制を支えます

地域の民生委員、医療・介護の関係者などと連携・協力し、高齢者の生活を支援するために必要なネットワークづくりをしています。また、ケアマネジャーが抱えている問題・課題の解決に向けた支援も行います。



3

虐待や消費者被害の防止に取り組めます

高齢者への虐待の早期発見、振り込め詐欺や架空請求等の消費者被害の未然防止、成年後見制度の紹介などを行います。

▼このような場合はご相談を…

- よく隣の家から怒鳴り声が聞こえてくる
- ご近所さんに怪しい業者が出入りしている
- 介護をしている際に、親にきつくあたってしまう



健康を保って暮らせるように支援します

4

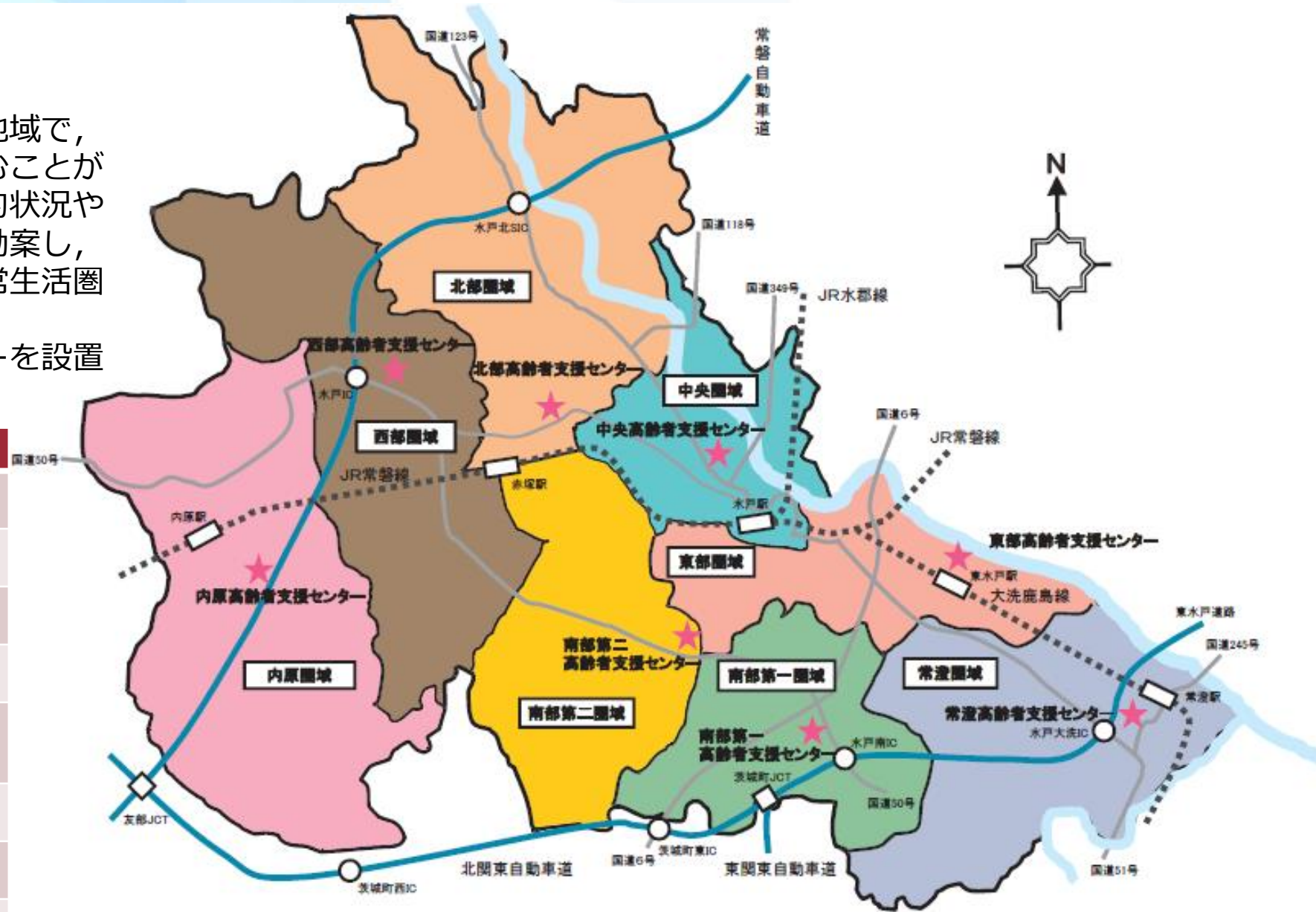


要介護状態にならないようにするため、さまざまな支援を行います。本人の状態や希望を把握したうえで、足腰の強化や認知症予防に取り組む教室、ホームヘルパーによる家事援助、デイサービスなどを利用できるようお手伝いします。

日常生活圏域図

水戸市では、高齢者が住み慣れた地域で、可能な限り自立した日常生活を営むことができるよう中学校区を基に、地理的状況や人口、交通事情その他社会条件を勘案し、市域を8つの地域に区分した「日常生活圏域」を設定しています。
この圏域ごとに高齢者支援センターを設置しています。

圏域	対象学区
中央	第一・第二中学区
東部	第三・千波中学区
南部第一	第四中学区
南部第二	緑岡・見川・笠原中学区
北部	飯富中・国田義務教育学区 第五・石川中学区
西部	赤塚・双葉台中学区
常澄	常澄中学区
内原	内原中学区



まずはお近くの高齢者支援センターに お気軽にご相談ください

中央 高齢者支援センター

担当地区(中学校区)／第一中、第二中
場所／東原3-2-11水高スクエア内
電話番号／306-9582

南部第二 高齢者支援センター

担当地区(中学校区)／緑岡中、見川中、
笠原中
場所／千波町1677葉山荘内
電話番号／241-4821

常澄 高齢者支援センター

担当地区(中学校区)／常澄中
場所／塩崎町3503介護老人福祉施設グ
リーンハウスみと内
電話番号／246-6155

東部 高齢者支援センター

担当地区(中学校区)／第三中、千波中
場所／吉沼町1429-12まるごとカフェ内
電話番号／246-6216

北部 高齢者支援センター

担当地区(中学校区)／飯富中、国田義務
教育、第五中、石川中
場所／石川4-4039-26介護老人保健施設
はあもにか隣
電話番号／246-6003



南部第一 高齢者支援センター

担当地区(中学校区)／第四中
場所／酒門町4231-2ケアハウスみと内
電話番号／246-5690

西部 高齢者支援センター

担当地区(中学校区)／赤塚中、双葉台中
場所／双葉台2-1旧地区センター内
電話番号／246-6333

内原 高齢者支援センター

担当地区(中学校区)／内原中
場所／鯉淵町2222-1特別養護老人ホーム
もみじ館内
電話番号／257-5466

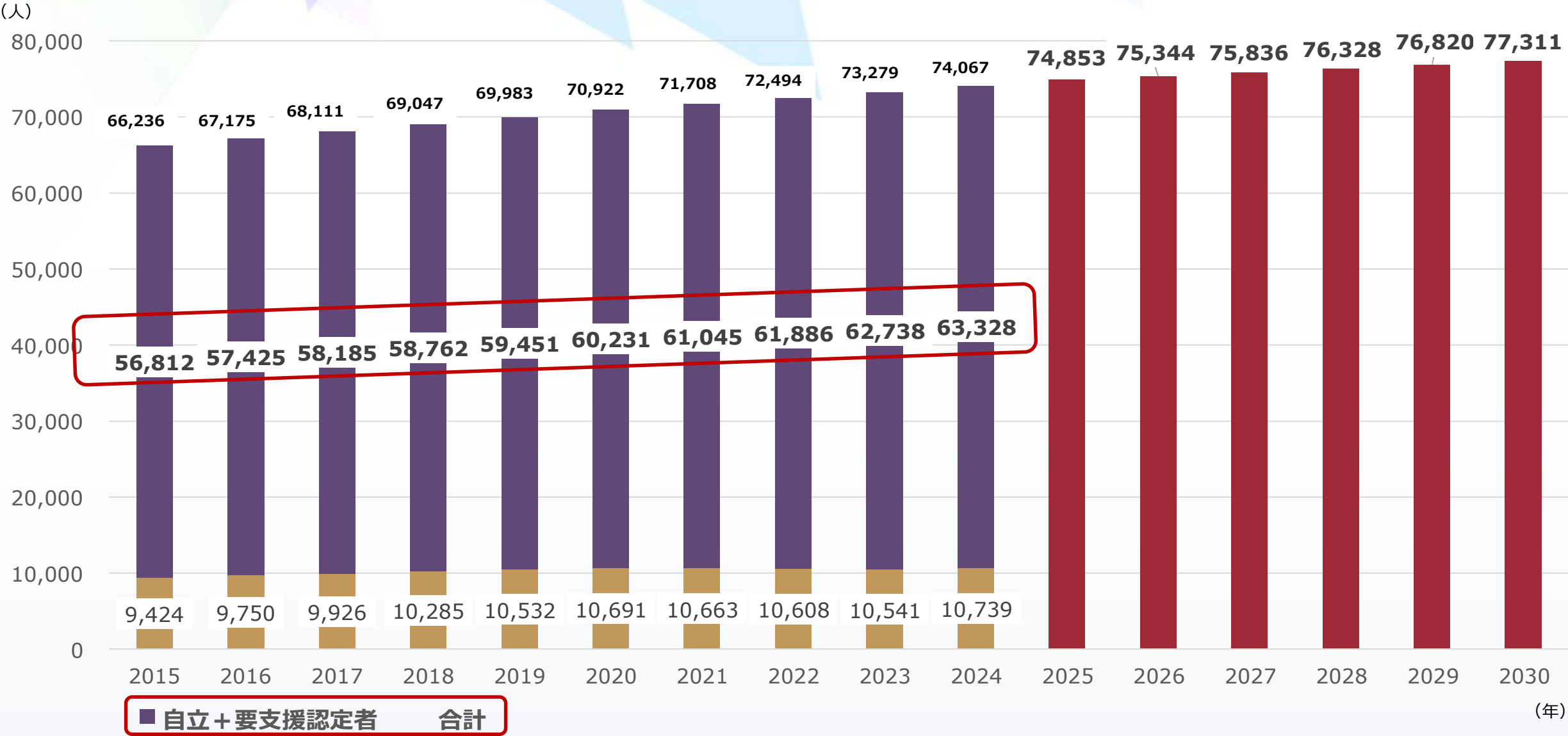
※いずれも受付時間は午前8時30分～午後5時15分(土・日曜日、祝日を除く)。

重点施策 介護予防と生活支援の充実

健康寿命の延伸を図るため、介護予防の取組を推進するとともに、高齢者の主体的な介護予防活動を支援します。また、多様な主体による高齢者の生活支援の充実を図るとともに、サービス提供体制の整備を推進します。

水戸市は、高齢者が健康で、自分らしく自立した生活が続けられる健康長寿社会の実現を目指しています。

本市の高齢者数の推移



総務省「国勢調査」，国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」，厚生労働省「介護保険事業状況報告」をもとに作成

フレイルとは



フレイルとは

最近、
ちょっと痩せてきたかも…



最近、走るとすぐに息切れする
ようになってきたかも…



前よりも
疲れやすくなった気がする…



外出するのが
おっくうなときがある…



これらは、年齢を重ねると誰もが感ずることです。
このような**虚弱の状態**のことを『**フレイル**』といいます。

フレイルの 3つの要素

健康と要介護の中間の時期

可 逆 性

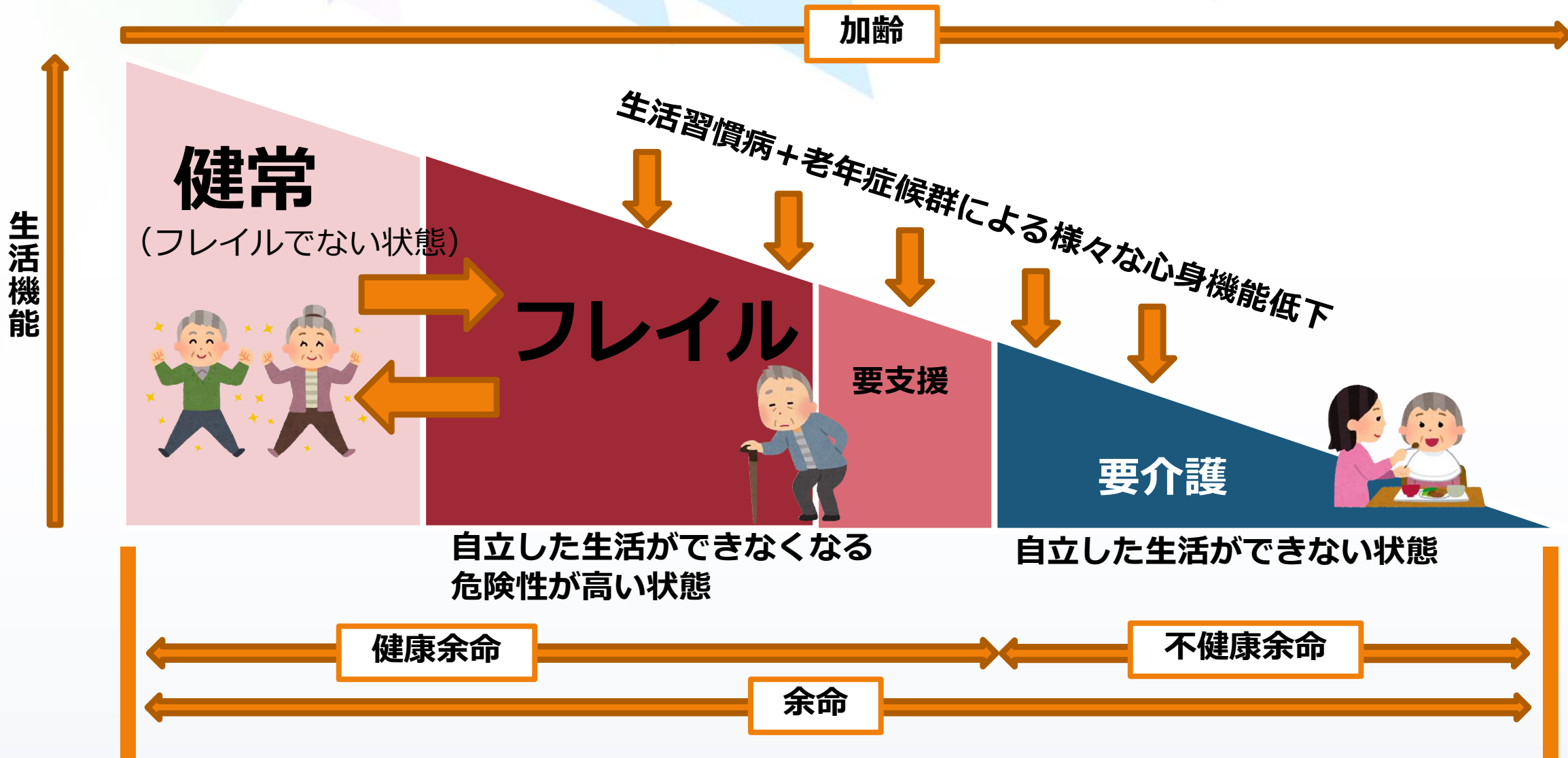
多 面 性



*ロコモ (Locomo) : ロコモティブシンドロームの略称。骨や関節, きん肉など運動器の衰えが原因で, 歩行や立ち座りなどの日常生活に支障を来している状態のことをいう。

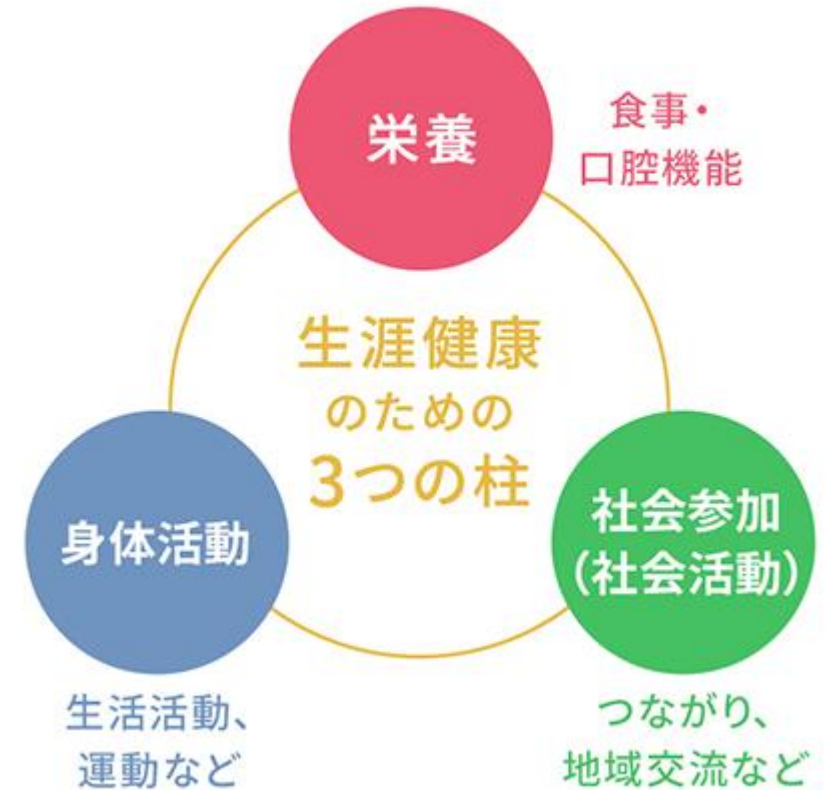
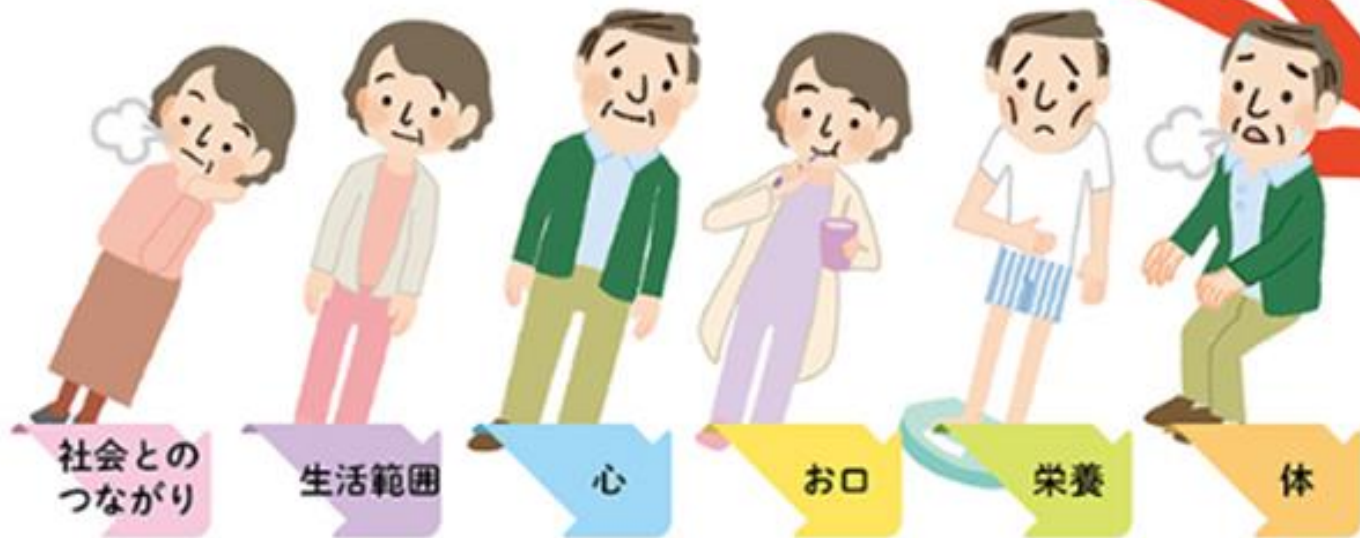
*サルコペニア (Sarcopenia) : 加齢に伴って筋肉量が減少する状態のことをいう。サルコペニアは, ギリシャ語でサルコ (筋肉) とペニア (減少) の造語である。

フレイルと要介護状態，健康余命との関係

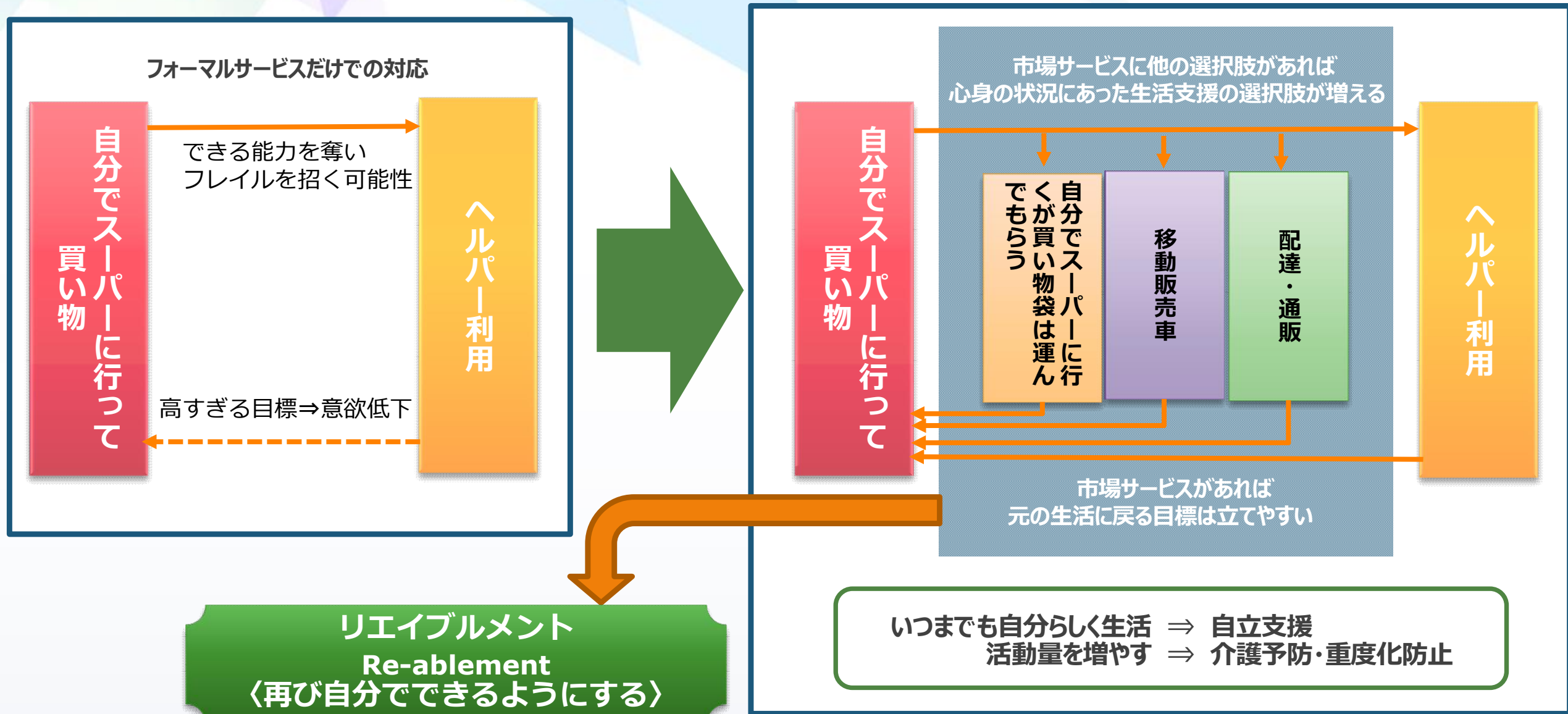


社会とのつながりを失うことがフレイルの最初の入り口に

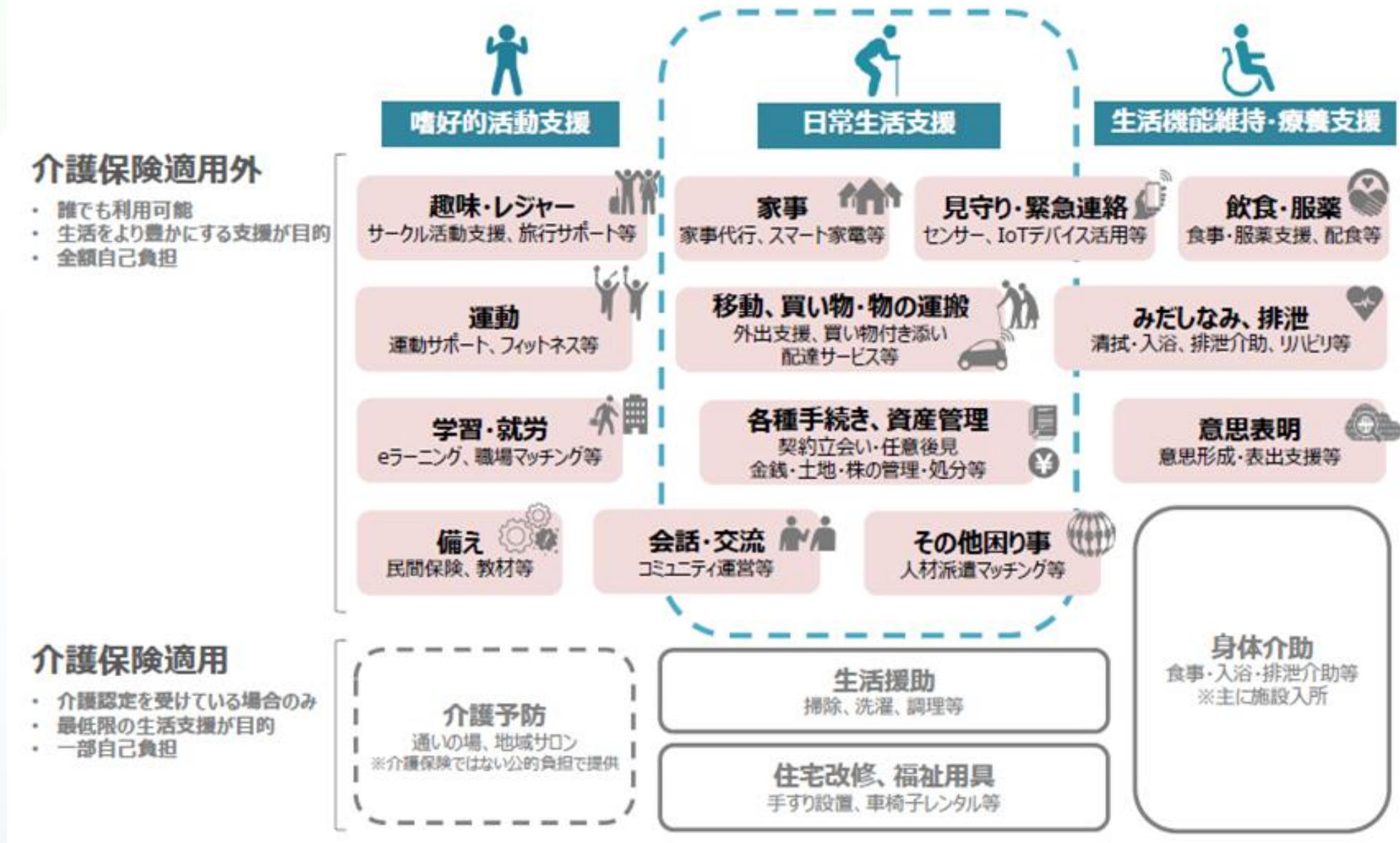
ドミノ倒しにならないように！



生活支援・介護予防と市場サービスへの期待

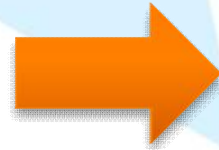


高齢者の生活支援・介護予防等に資するサービス



高齢者の生活を支える体制の「目指す姿」

高齢者の状態は、人によって様々…
同じサービスが
誰にとっても最適というわけではない



「自分にあったサービスを、自分で選べる」
環境をつくっていくことが大切

高齢者の状態像





いきいきと安心して自分らしく暮らせるまちを
共に創っていただだけませんかー

参考資料 1

ニーズ調査からわかった日常生活圏域ごとの特徴

圏域	特徴
中央	一人暮らしの割合が高く、外出の手段を徒歩、路線バスとする割合が高くなっています。趣味関係のグループや学習・教養サークルの地域の活動への参加率が高く、生きがいを感じている人が多くなっています。
東部	一人暮らしの割合が高く、高齢者クラブやスポーツ関係、介護予防のための通いの場の地域の活動への参加率が高くなっています。また、飲酒・喫煙の習慣のある人が高くなっています。
南部第一	外出の目的を買い物としている人の割合が高い一方、バスや電車を使って1人で外出できないと感じている人が多くなっています。また、噛み合わせなど口腔機能に対する心配を感じている人の割合が高くなっています。
南部第二	8 圏域の中で高齢化率は最も低いですが、高齢者人口及び一人暮らしの割合は最も高くなっています。現在、何らかの介護を受けている人や口腔機能や認知機能に対する心配を感じている人の割合が高く、また、生きがいを感じない、この一ヶ月間、気分の沈みや憂鬱を感じる人の割合が高くなっています。
北部	ほとんど外出しない人の割合が多く、昨年と比べて外出の頻度が減っています。また、口腔機能や認知機能に対する心配を感じている人や、この一ヶ月間、物事への興味や楽しみを感じない人の割合が高くなっています。
西部	高齢化率が8 圏域の中で最も高く、かかりつけの医師（歯科医含む）がいる人の割合が高くなっています。一方で、健康に関する記事・番組への関心度が低く、介護予防のための生活機能判定結果で栄養状態に低下の傾向がみられると判定された人の割合が高くなっています。
常澄	外出手段を自分で自動車を運転とする割合が高くなっています。町内会・自治会への参加率や、収入のある仕事をしている割合が高く、また、健康状態が良い人、幸福感が高いと感じる人の割合が8 圏域の中で最も高くなっています。一方、飲酒・喫煙の習慣がある人の割合が高くなっています。
内原	週1 回以上、外出している人が多く、地域でのボランティアに参加している人の割合が高くなっています。また、友人・知人とよく会っている人が多い一方、健康に関する記事・番組への関心度が低くなっています。

